



2025年

二葉幼稚園

園のたより

10月



10月の聖句

あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのです

新約聖書ペトロの手紙14章10節

10月のさんびか

主イエスとともに

ようじさんびかⅡ

いっしょに(3歳児)・輝いて(4・5歳児)

この時期は「一雨一度」と言われ、一雨ごとに気温は下がり秋が深まることを意味するのですが、今年は10月にかけても30℃以上の真夏日続出となるそうです！

9月6日土曜日午後5時半！園庭に悲願の可動式UV屋根！が完成しました！朝からじりじりと痛いほどに照りつける灼熱の太陽、強烈な酷暑の中、毎日帽子も被らずコツコツと精を出して下さった基礎屋さん、鍛冶屋さん、コンクリート屋さん、塗装屋さん、テント屋さん、現場監督さん、等、沢山の方々のお陰さまで二葉の園庭が日影で覆われました。工事関係者の皆様には毎日頭が下がる思いでした。実は・・・現場監督さん、3人のお子様が元ふたばっこ！

「僕だけまだ卒園できないんですよ」と笑顔で仰いますが、いつも陰ながら園を支えてくださいます。

「知らない間に誰かが作った」のではなく、ふたばっこのために一生懸命作業してくださった方々を子ども達や保護者の皆様にもご紹介したくて、何名かの写真を撮らせて頂き、園内掲示板に貼らせて頂くことに致しました。子ども達には保育の中で伝えていきます。社会には様々な職業があり、それぞれの人ができるところで力(まさに賜物)を発揮し、ご自分のお仕事に誇りを持ち、思いを繋げて一つの大仕事が完成する、、改めて人間って素晴らしい、協力の「協」が示す通り、多くの力を集めて一つに合わせることの醍醐味を知る貴重な経験でした。園庭を覆う鮮やかな緑色の屋根。早速子ども達が涼やかな風をまとい、笑顔炸裂、汗びっしょりで水を得た魚のように駆け回っています

さて、教職員のお祈りから始まる二葉の朝、これが本当に感動なのです。一緒に心を合わせて毎回「うんうん」と共感できる…。年少では何かトラブルがあった時、保育者にすぐ助けを求めるのではなく、子ども達が具体的に声を掛け合っている姿に大きな成長の喜びを感じたそう。朝の自活で各コーナーに子ども達だけで盛り上がり遊びこむ姿が見られます。年中では夏休みの出来事を生き生きと友達に伝え合う姿、野菜を楽しみに育てた結果、実を結ぶに至らなかった理由は何かと真剣に考え合う姿、年長では年少から一緒に過ごしてきた大好きな友達が引っ越すため寂しさ抱えて送り出す姿、引っ越した先で友達ができますように、と祈る姿、一緒にしたかったふたばっこフェスタにも益々意欲的に取り組む、輝く姿が見られます。

先日、ご自身が生後8ヵ月で被爆された近藤紘子さんの講演をお聴きました。悲惨な戦争を起こさないため、核廃絶のため何ができるのか、自分のこととして捉え直すには何から手を付ければよいのかと思ひ悩む日々です。会の最後に歌った讃美歌371番の歌詞に思いを託します。

♪このこどもたちが未来を信じ つらい世のなかも希望に満ちて 生きるべきいのち 生きていくため  
主よ 守りたまえ 平和を 平和を

このこどもたちの未来を守り 生きるべきいのち 共に生かされ 平和をよこさば 世界を望む

主よ 祝したまえ 大地を 大地を♪

今学期もそれぞれの賜物を認め合って、いっしょに輝く瞬間を！ともに生きる喜びを！！ 【園長】